



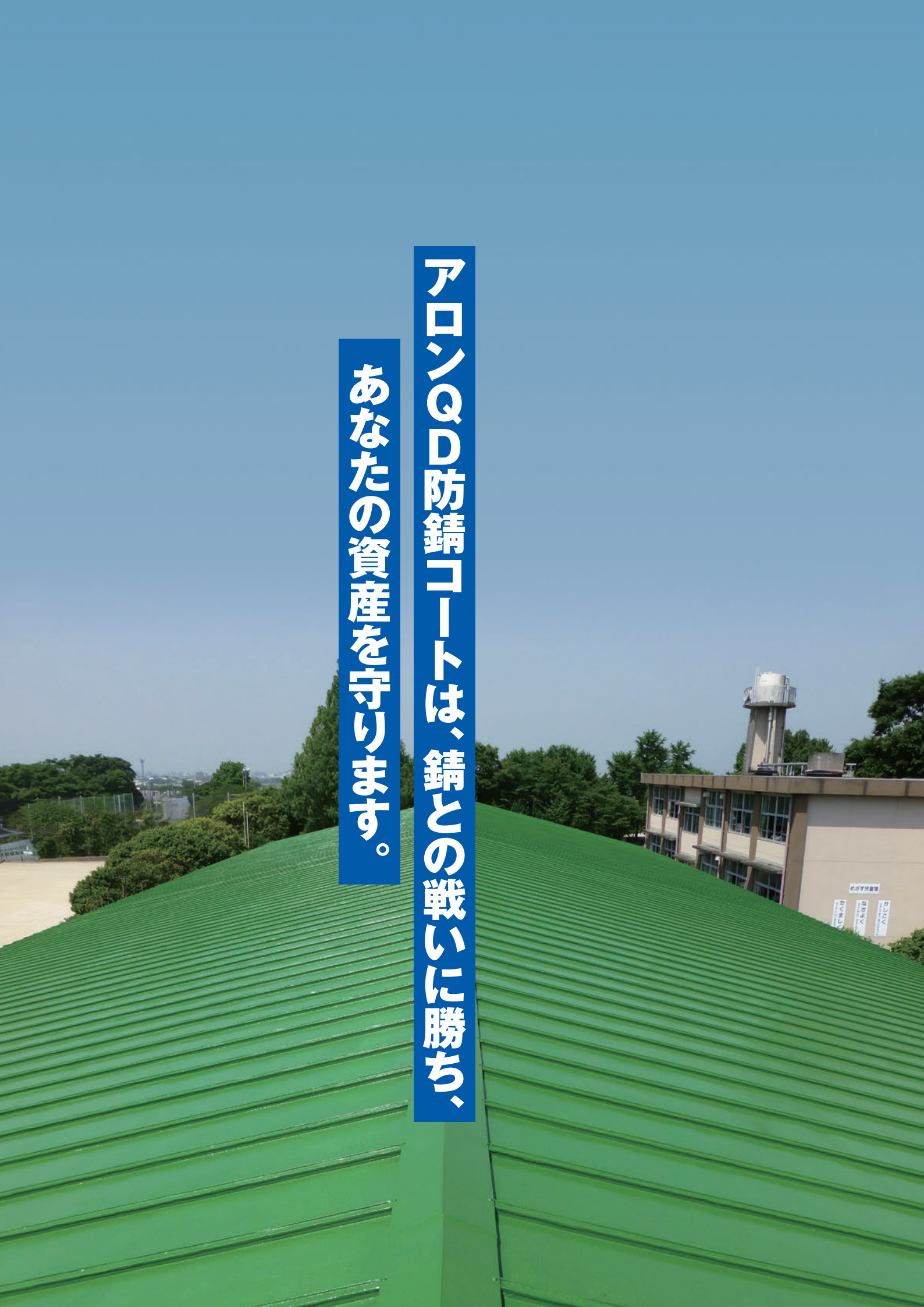
高弾性厚膜アクリルゴム系防水・防錆工法 アロンQD[®]防錆コート

遮熱仕様による省エネ&エコロジカルな防水・防錆システムです。



アロンQD防錆コートは、錆との戦いに勝ち、

あなたの資産を守ります。



アロンQD防錆コートは、水系の2成分反応形アクリルゴム系塗膜防水材料「アロンQD-H」を用いた高弾性厚膜防水・防錆工法です。

卓越した防水効果はもとより、高温多湿なサビ多発環境から鋼製屋根を保護する機能に加え、優れた遮熱・遮音効果を発揮し、冷房費の節約・屋内環境の改善など省エネルギーにも貢献します。

周囲を海に囲まれた、高温多湿の環境にある日本は、常に腐食が起きやすい状況に置かれています。しかも南北に長く、腐食環境も様々なことから、防錆塗料にもそれぞれの腐食環境に十分耐えられる防錆性能と品質が求められます。

更に、鋼板は、温度変化による伸縮が大きいいため、薄く、硬い防錆塗料では短期間に割れ、はがれが発生し、加速的に防錆機能が消失してしまいます。

アロンQD防錆コートは、高弾性で厚膜のアクリルゴム塗膜により温度変化による鋼板の伸縮に追従しながら、腐食因子を長期的にわたってシャットアウトします。

アロンQD防錆コートは、優れた防錆機能と防水機能により鋼製屋根を様々な劣化環境から長期間保護します。

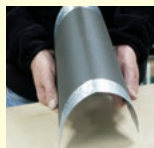


従来の防錆塗料の劣化

アロンQD防錆コートの特長

防錆機能に優れています。

- ダブルブロック防錆システム
プライマーの有する化学的防錆機能と厚膜な「アロンQD-H」のバリアー性（水分、酸素、塩分）によるダブルブロックにより防錆機能を発揮します。
- 割れない、はがれない高弾性塗膜
広い範囲の温度領域で柔軟性を発揮するため、鋼板の動きや変形に対しても割れることなく追従します。
- アクリルゴムの優れた耐久性
耐候性に優れたアクリルゴムを主体としたシステムなので、長期的にわたって防錆機能を維持します。



遮熱機能により省エネルギーに貢献します 【アロンQD防錆コート遮熱仕様(QB-2C)】。

優れた遮熱性能を有する「アロンMDクールカラーSi」を上塗材に用いることにより、屋内環境を改善し、空調経費を節約します。

防水機能に優れています。

柔軟性に富む「アロンQD-H」は、下地の動きにも追従し、漏水を防止します。

環境に優しい水系のアクリルゴムです。

中塗材「アロンQD-H」は、水系材料のため、臭いやVOC（揮発性有機溶剤）を大気中に放出しません。

遮音機能により雨音を低減します。

柔軟で厚膜な塗膜により、雨音を1/3程度に低減します（当社データ）。

軽量の防水・防錆システムにより、建物への荷重負担を最小限にします。

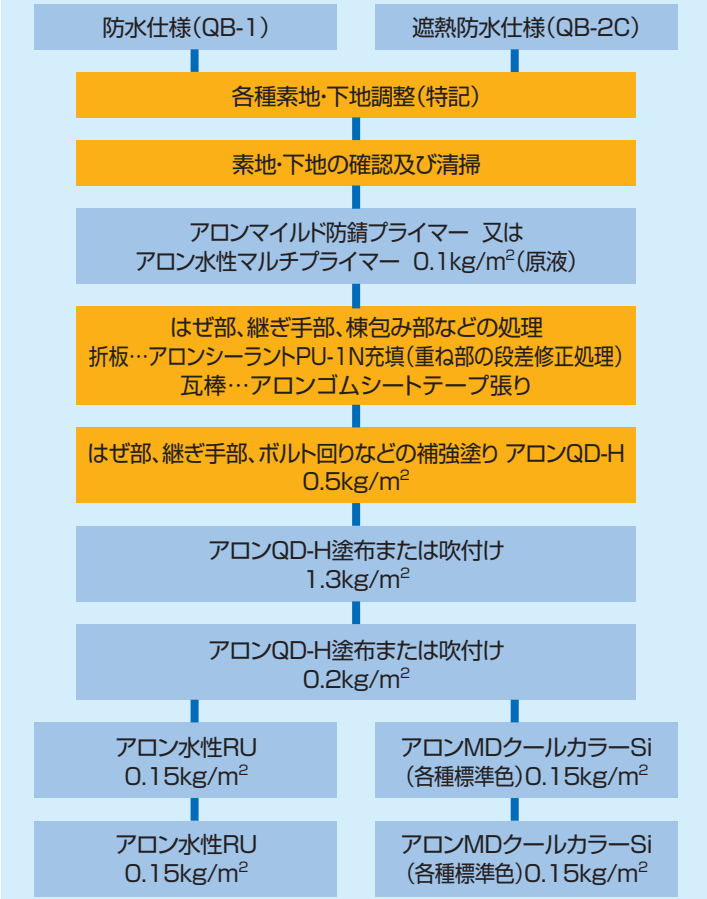
アロンQD防錆コート（約1.4kg/m²）は、既存の屋根に取り付けるカバー工法の1/2～1/4の重量のため、建物への負担を最小限にします。

あらゆる下地、あらゆる部位にも容易に施工できます。

下地の種類に対応したプライマーを選定することにより、ほとんどの金属や既存の活膜に適用できます。また、複雑な形状でも、シームレスに施工できます。

アロンQD防錆コートの施工工程

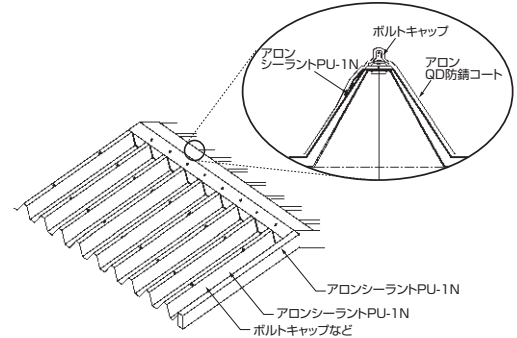
標準仕様



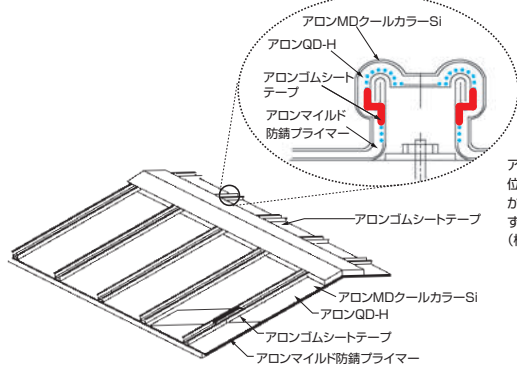
- 改修の場合の下地のケレンの程度はRB種(公共建築改修工事標準仕様書)を標準とします。すなわち、下地鋼板に発錆がなく、塗膜が健全で、下地との付着力が良好な活膜は残すことができます。
- 鋼製屋根(瓦棒、折板)はその形状により延べ面積が異なりますので、形状に応じて実際の施工面積(糸尺面積)を算出し、各材料の使用量を算出して下さい。
- 鋼製屋根のはげ、継手の長さおよびボルトの本数も算出または実測して材料の使用量を算出して下さい。
- 気温5℃以上で施工して下さい。
- オレンジ色で示す工程は、標準工程および材工設計価格には含まれません。
- 各種上塗材は、使用者の責任において、見本板と実際の製品の色をあらかじめご確認の上、ご使用下さい。
- QB-1仕様の上塗材には、標準(アロン水性RU)の他に、弱溶剤系上塗材(アロンMDルーフカラーSi)も取り揃えています。
- アロンQD防錆コートはローラーでの施工も可能です。その場合は塗り残しに注意して下さい。
- アロンゴムシートテープは、浮き、シワの無いよう圧着張りして下さい。

納まり図例

折板屋根



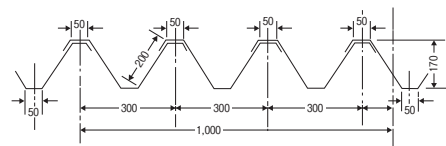
瓦棒屋根



アロンゴムシートは任意の位置(青点線部)から張りかため下部(赤線部)には必ず張る。(標準仕様書参照)

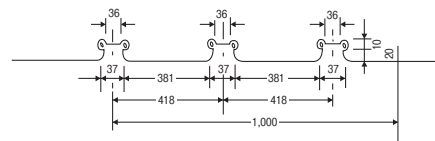
糸尺面積の算出方法

折板 S-60(重ねタイプの大型折板)



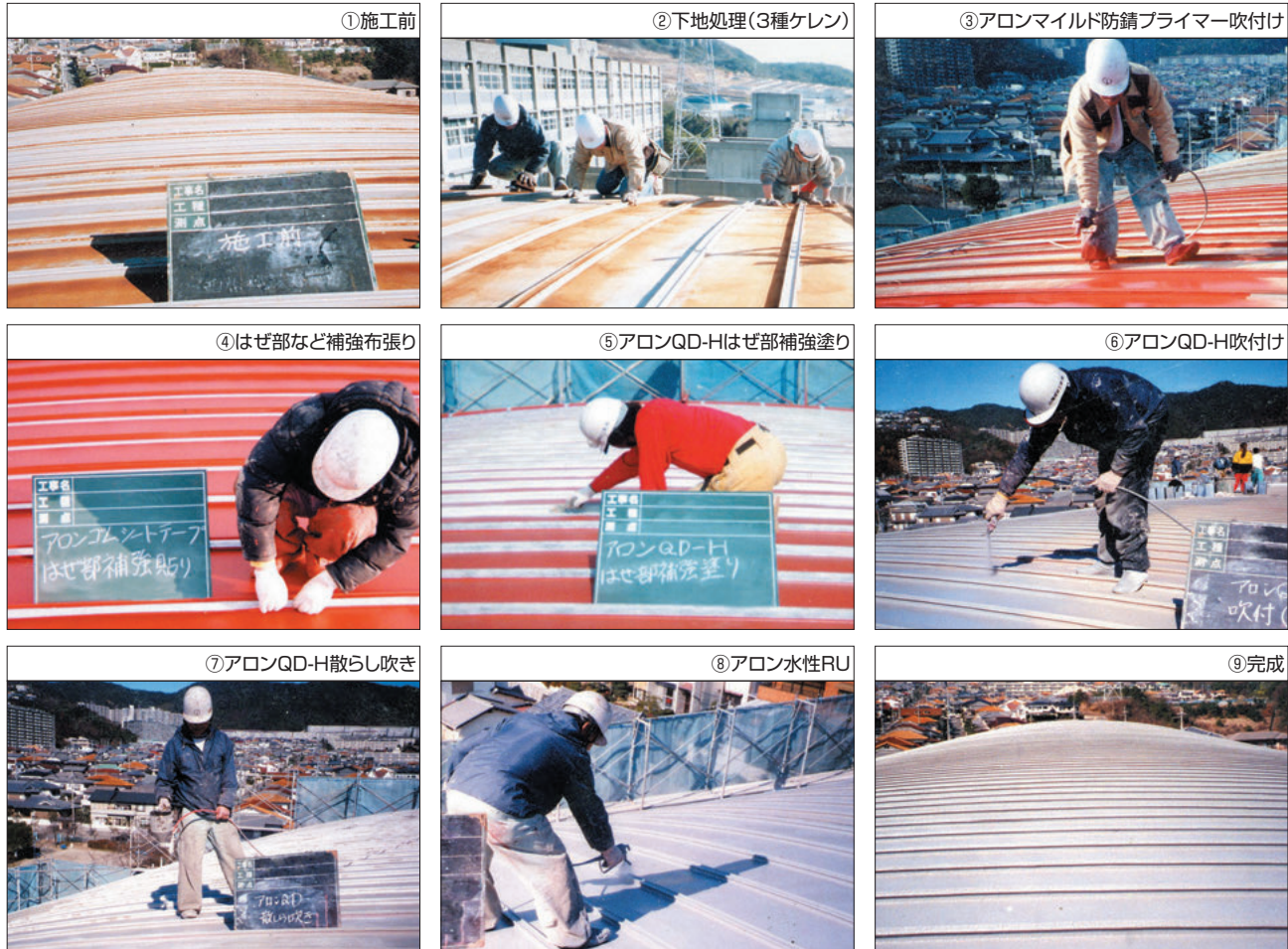
- (1) 屋根面積当たりの山部本数 $1,000 \div 300 = 3.33 \text{本} / \text{m}^2 \approx 3.4 \text{本} / \text{m}^2$
- (2) 1山当りの長さ $0.025 + 0.2 + 0.05 + 0.2 + 0.025 = 0.5 \text{m}$
- (3) 延表面積(糸尺面積) $S = 3.4 \times 0.5 \times 1.0 = 1.7 (\text{m}^2) / \text{m}^2$

瓦棒角はげ



- (1) 屋根面積当たりの瓦棒本数 $1,000 / 418 = 2.39 \text{本} / \text{m}^2 \approx 2.4 \text{本} / \text{m}^2$
- (2) はげ部延表面積
 底辺 $(0.115 - 0.037) \times 1.0 = 0.078 \text{m}^2 \approx 0.08 (\text{m}^2)$
 斜辺 $0.08 (\text{m}^2) \times 2.4 = 0.192 (\text{m}^2)$
- (3) 延表面積(糸尺面積) $S = 1.0 + 0.192 = 1.192 \approx 1.2 (\text{m}^2) / \text{m}^2$
 * 周長は実測値

施工工程



各種下地に対するプライマーの選定

下地の種類	適用プライマー	水系		弱溶剤系	その他の適用可能なプライマー	施工上の注意事項
		水性マルチプライマー	水性マルチプライマー	マイルド防錆プライマー		
銅板		○	○	○	アロン強化プライマー	
銅板		○	○	○	アロン強化プライマー	
ステンレス		○	○	○	アロン強化プライマー	
アルミ		○	○	○	アロン強化プライマー	
電気亜鉛めっき鋼板		○	○	○	アロン強化プライマー	ボンデ鋼板
溶融(亜鉛)めっき鋼板		○	○	○	アロン強化プライマー	シルバージंक、シルバーアロイ、溶融メッキ鋼板、ドブ付亜鉛鋼板、トタン板
溶融合金めっき鋼板		○	○	○	アロン強化プライマー	ガルバリウム鋼板
耐候性鋼板		○	○	○	アロン強化プライマー	コールドテン鋼(無塗装鋼板・酸化皮膜)
被覆鋼板	フッ素樹脂	○*	○*	○*	アロン強化プライマー、アロン水性プライマー(劣化大の場合)*	*新品は付着性の事前確認が必要
	塩ビ(耐酸性鋼板含む)	×~○*	×	×	アロン強化プライマー**	銹柄、塗装時期により付着しない、可塑剤ブリードで汚染・曇れの可能性。*谷コイルは不可。**塗布後タック発生、付着性確認
	樹脂	○	○	○	アロン水性プライマー	カラー鉄板、カラータン。新品は付着性の事前確認が必要
シルバー塗装	水系・溶剤	○	○*	○*	アロン水性プライマー	脆弱部除去。セメント系材料の直接塗布NG *溶剤蒸発のため1日以上乾燥
	アスファルト(アルマネーション)	○	○*	○*	アロン水性プライマー	脆弱部除去。新品は付着性の事前確認が必要 *溶剤蒸発のため1日以上乾燥
オリエンタルメタル	アスファルト	○*	○**	○**	アロン水性プライマー	*新品は付着しません。**溶剤蒸発のため1日以上乾燥
オーシマメタル(フッ素樹脂)	フッ素樹脂	○*	○*	○*	アロン強化プライマー、アロン水性プライマー(劣化大の場合)*	*新品は付着性の事前確認が必要

◎: 推奨プライマー ○: 使用可能 ×: 使用不可 *右記の施工上の注意事項参照

アロンQD-Hの性状・テクニカルデータ

1.各材料の性状

アロンQDベース		アロンQDセッターH	
pH	5~6	かさ比重	約0.66
固形分	約57%		
比重	約1.02	性状	粉体
性状	乳白色液体		

2.中塗材の荷姿・性状

配合	材料名		アロンQD-H
		ベース	アロンQDベース(15kg/缶)
	セッター	アロンQDセッターH(15kg/袋)	
混合後	粘度		7,000~20,000mPa·s
	固形分		約79%
	比重	液	約1.32
		乾燥膜	約1.66
1kg/m ² 塗布時の乾燥膜厚		約0.5mm	

3.各種下地への付着強さ

下地の種類	付着強さ(N/mm ²)	プライマーの種類	破壊箇所
モルタルおよびコンクリート	1.2~1.7	アロン水性プライマー	中塗材母材破壊
鉄板	1.2~1.6	アロンマイルド防錆プライマー	中塗材母材破壊
硬質塩ビ板	1.2~1.6	アロン強化プライマー	中塗材母材破壊
アルミニウム板	1.2~1.6	アロン強化プライマー	中塗材母材破壊
ステンレス板	1.2~1.6	アロン強化プライマー	中塗材母材破壊

4.アロンQD-Hの塗膜物性

試験項目			測定値
			アロンQD-H
引張性能	引張強さ(N/mm ²)		1.2
	破断時の伸び率(%)		260
	抗張積(N/mm)		60
引裂性能	引裂強さ(N/mm)		11.2
	温度依存性	引張強さ(N/mm ²)	試験時温度 -20℃
試験時温度 60℃			1.2
破断時つかみ間の伸び率(%)		試験時温度 -20℃	40
		試験時温度 23℃	130
	試験時温度 60℃	88	
加熱伸縮性状	伸縮率(%)		-0.1
劣化処理後の引張性能	引張強さ比(%)	加熱処理	108
		促進暴露処理	97
		アルカリ処理	131
		酸処理	85
	破断時伸び率(%)	加熱処理	195
		促進暴露処理	175
		アルカリ処理	220
		酸処理	260
伸び時の劣化性状	加熱処理		合格
	促進暴露処理		合格
	オープン処理		合格

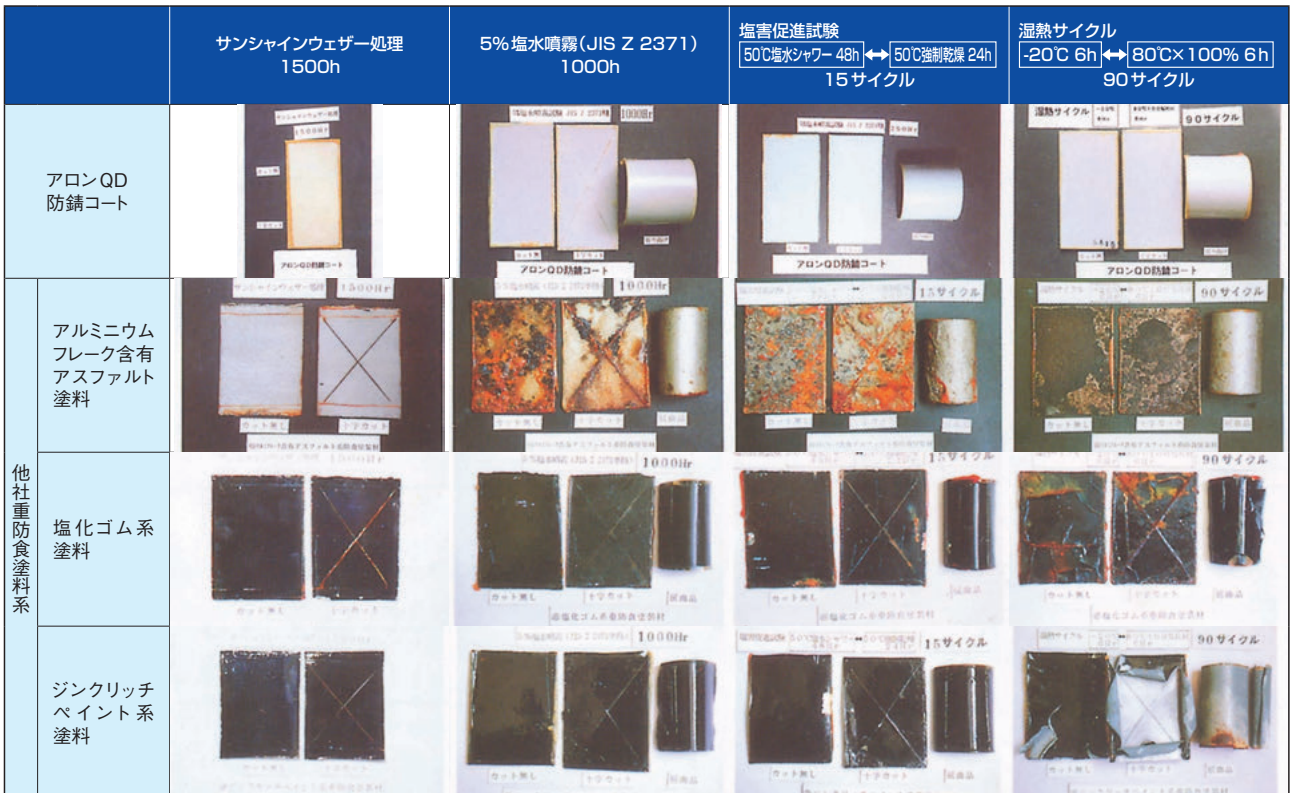
上記試験はJIS A6021 : 2011「建築用塗膜防水材料」に準拠しています。(1mm厚)
本カタログに記載のデータは当社での実験値であり保証値ではありません。

5.単純ゼロスパンテンション

無処理(23℃、膜厚 約0.6mm)	2.0mm
--------------------	-------

※標準仕様施工の際のデータです。

6.各種促進試験後の塗膜外観



注)本カタログに記載のデータは当社での実験値であり、保証値ではありません。

7.標準色の日射反射率 アロンMDクールカラー-Siは以下の公的規格に規定する日射反射率を満足しています。

標準色の種類	日射反射率(%)		明度 (*L値)	日射反射率に関する公的規格																
	近赤外波長域	全波長域																		
グリーン	47.0	26.4	35.3	【JIS K 5675(屋根用高日射反射率塗料)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>明度 (*L値)</th> <th>波長域</th> <th>日射反射率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L* ≤ 40.0</td> <td rowspan="3">近赤外</td> <td>40.0%以上</td> </tr> <tr> <td>40.0 < L* < 80.0</td> <td>明度以上</td> </tr> <tr> <td>80.0 ≤ L*</td> <td>80.0%以上</td> </tr> </tbody> </table> ※本JISは防水用には適用されません。 【KRK S-001(高反射率防水シート)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>明度 (*L値)</th> <th>波長域</th> <th>日射反射率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規定なし</td> <td>近赤外</td> <td>50.0%以上</td> </tr> </tbody> </table>	明度 (*L値)	波長域	日射反射率	L* ≤ 40.0	近赤外	40.0%以上	40.0 < L* < 80.0	明度以上	80.0 ≤ L*	80.0%以上	明度 (*L値)	波長域	日射反射率	規定なし	近赤外	50.0%以上
明度 (*L値)	波長域	日射反射率																		
L* ≤ 40.0	近赤外	40.0%以上																		
40.0 < L* < 80.0		明度以上																		
80.0 ≤ L*		80.0%以上																		
明度 (*L値)	波長域	日射反射率																		
規定なし	近赤外	50.0%以上																		
グレー	60.2	40.9	53.4																	
ライトグレー	62.9	44.6	58.7																	
ダークグレー	46.7	25.8	25.4																	
アプリコット	73.0	58.3	69.0																	
ダークブルー	45.5	24.5	20.1																	
ブリックレッド	56.2	36.0	34.0																	
ブラウン	44.3	23.7	18.9																	
チョコレート	47.9	27.0	26.2																	
ホワイト	88.4	88.7	96.0																	

※日射反射率は、遮熱仕様[防水材・中塗材に、アロンMDクールカラー-Si(標準色、艶あり)] [0.15kg×2回/m²]の測定値です。
 ※日射反射率は、色により異なります。また、下地の状態、施工条件などにより異なる場合があります。

施工工程


使用材料一覧

主材料一覧

分類	材料名称	性状	荷姿
下塗材	*アロンマイルド防錆プライマー	2液反応硬化形ウレタン樹脂有機溶剤溶液 主剤：消防危4-2、硬化剤：消防危4-2 標準色：赤さび、グレー	主剤14kg/缶、硬化剤1kg/缶 15kg/セット
	*アロンマイルド防錆プライマー用シンナー	無色透明な芳香族系有機溶剤 添加量2~3ℓ/セット(1.6~2.4kg/セット)消防危4-2	16ℓ/缶、4ℓ/缶
	アロン水性マルチプライマー	特殊変性エポキシ樹脂エマルジョン	16kg/缶
中塗材	アロン QDベース	カチオン性アクリルゴムエマルジョン	15kg/缶
	アロン QDセッターH	無機質硬化剤(垂れ止め剤入り)	15kg/袋
	アロン QD遅延剤	白色無機系粉体(季節に応じて添加)	45g/包 50/箱
上塗材	アロン水性RU	非歩行用 アクリルウレタン樹脂エマルジョン(艶消し)	15kg/缶
	アロン水性シルバー	QD防錆コート工法用 水系合成樹脂塗料	15kg/缶
	*アロンMDルーフカラー-Si	低汚染タイプ 2液反応硬化形弱溶剤系 アクリルシリコン樹脂塗料艶あり・半艶消し 主剤・硬化剤：消防危4-2	主剤12kg/缶、硬化剤2kg/缶 14kg/セット
	*アロンMDルーフカラー-Si用シンナー	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消防危4-2	12.8kg/缶
	*アロンMDクールカラー-Si	低汚染タイプ 2液反応硬化形弱溶剤系 アクリルシリコン樹脂高日射反射率塗料艶あり・半艶消し 主剤・硬化剤：消防危4-2	主剤12kg/缶、硬化剤2kg/缶 14kg/セット
	*アロンMDクールカラー-Si用シンナー	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消防危4-2	12.8kg/缶
副資材	アロンシーラントPU-1N	ノンブリード形1成分ポリウレタンシーリング材	320mlカートリッジ 10本/箱
	アロンゴムシートテープ	表面合成繊維不織布付きアクリルゴムシート状テープ 厚み約0.4mm、巻長さ50m/巻	4巻/箱(100mm幅) 8巻/箱(50mm幅)

上塗材の色見本

アロンMDクールカラー-Si (遮熱・高日射反射率塗料)	
グリーン (P39-40L 近似)	
グレー (PN-55 近似)	
ライトグレー (PN-60 近似)	
ダークグレー (PN-30 近似)	
アブリコット (P12-70L 近似)	
ダークブルー (P65-20H 近似)	
ブリックレッド (P09-30L 類似)	
ブラウン (P09-20B 近似)	
チョコレート (P05-30D 近似)	
ホワイト (PN-95 近似)	

アロン水性RU	
グレー (FN-50とFN-53の間)	
グリーン (E42-40HとE39-40Hの間)	

- ・上記の色見本は印刷のため、実際とは異なる場合があります。
- ・遮熱仕様では特注色対応はできません。

副材料一覧

分類	材料名称	性状	荷姿	
下塗材	*アロンMD防錆プライマー	2液反応硬化形弱溶剤系エポキシ樹脂プライマー 主剤：消防危4-2、硬化剤：消防危4-2	主剤14kg/缶、硬化剤2kg/缶 16kg/セット	
	アロン水性プライマー	2液反応硬化形エポキシ樹脂エマルジョン	主剤6kg/缶、硬化剤6kg/缶 12kg/セット	
	*アロン強化プライマー	特殊変性2液反応硬化形エポキシ樹脂有機溶剤溶液 主剤：消防危4-2、硬化剤：消防危4-1	主剤8.2kg/缶、硬化剤6.8kg/缶 15kg/セット	
下地処理材	折板用ボルトキャップ(市販品)	合成樹脂成型品	—	
	アロンカチオクリート	アロンカチオクリートベース	カチオン性アクリル樹脂エマルジョン	16kg/缶
		アロンカチオクリートフィラー	既調合粉体	20kg/袋
副資材	ボルトキャップ	市販品	—	
	アロンメッシュ	ミドルタイプ ポリエステル繊維メッシュ、50m/巻、幅1,040mm、密度23×18本/インチ	1巻/箱、2巻/箱	

*有機溶剤溶液形材料

- ・各使用材料を実際に調合および施工する場合には、使用者の責任において、当社発行の技術資料などに従って下さい。
- ・低汚染性は適用部位などによって発現しない可能性があります。
- ・アロン-QD-Hやアロン水性RUなどの水系材料には界面活性剤などの水溶性物質を添加しています。施工面積や屋根形状、降雨量などにより異なりますが、稀に施工後後の降雨により、ドレンから樋を通じて排水マスや側溝などに流れ込んだ雨水が発泡したり、一時的にCOD、BODが上昇する場合があります。
- ・各材料を実際に調合・施工する場合には、使用者の責任で当社発行の標準仕様書・テクニカルインフォメーション・SDSなどに従って下さい。
- ・本カタログ内のデータは当社での実験値であり、保証値ではありません。
- ・このカタログに記載の商品は予告なしに仕様や取扱いを変更することがあります。

TOAGOSEI グループ

販売部門



アロン化成株式会社

東京支店 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 TEL.03(3597)7342
 名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6 TEL.052(209)8594
 大阪支店 〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3 TEL.06(6446)6568
 福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神4-1-1 TEL.092(687)1415
 札幌営業所 〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1-7 TEL.011(804)8614

www.aronkasei.co.jp

東亜合成株式会社
 建材・土木グループ

0120-557-947(フリーダイヤル)
 www.toagosei.co.jp/